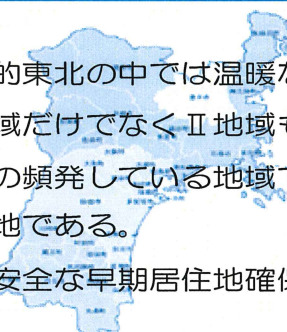


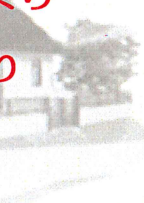
1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 宮城快適住宅	(地域型住宅供給対象地域) 宮城県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 宮城住創造研究会	(結成年月) 平成 24 年 5 月
3. 代表的な地域材の 名称・産地・認証制度等 (必須)	(名称) 国産杉・国産唐松・LVL	(産地) 岩手県・北海道・ニューゼaland
		(認証制度等) 合法木材
4. 地域型住宅の特徴・具体像及び共通ルール等についての説明 (必須)		

「宮城快適住宅」の特徴・具体像

- ・比較的東北の中では温暖な気候
- ・Ⅲ地域だけでなくⅡ地域もある。
- ・地震の頻発している地域である。
- ・被災地である。
- ・安心安全な早期居住地確保



- ・ **高気密、高断熱な快適家づくり**
(狂いの少ない部材での家づくり)
- ・ **地震に強い安心安全家づくり**
(品質安定材+金物工法)
- ・ **永く住み継がれる家づくり**
(可変出来るS I 設計[上階])
- ・ **早期計画出来る家提案**
(住宅型式認定プランも用意)



「宮城快適住宅」の生産に関する共通ルール

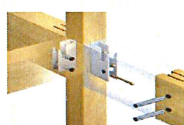
高気密・高断熱な快適家づくり

- ・合法木材100%使用(主要構造材)
- ・狂いの少ないエンジニアウッド採用
- ・次世代省エネ基準を確実に担保
- ・24時間換気システム



地震に強い家づくり

- ・構造設計ルールによる耐震性確保。金物工法。
- ・品質、性能が均一で安定供給できる合法木材使用。



永く住み継がれる家づくり

- ・構造設計ルールによって計算される際に上階にスケルトンインフィル(SI)空間を設け、ライフスタイルに合わせた可変空間を実現する。
- ・主要構造材以外にも合法木材を3㎡以上使用する。
- ・東北被災地区域産材も被災地当事者として合法木材として使用含む。

グループの実行性・その他

「宮城県は東日本大震災被災地である」
「安心安全な家づくりを消費者は求めている」
★地元工務店が手を組み、良質で安心快適な家をルールをもってご提供する。

- ・グループ内の技術研究会内の建築士によるインナーチェック(施工実施状況チェック)
- ・地盤調査の実施
- ・30年の維持管理計画書の策定と点検実施
- ・建築現場で長期優良住宅がわかるものを掲示(幟旗や看板等による普及・啓発)
- ・標準見積書の作成及び施主への提示
- ・特別価格の収集、一覧表作成
- ・住宅型式プランの用意
- ・第三者機関((財)ベターリビング)による維持管理実施状況の検査(施主希望時)
- ・現場見学会実施
- ・人材育成(新人教育等)
- ・被災地としての応急仮設住宅体制検討
- ・グループ内の技術研究会での住宅の無理無駄を削減検討。



注 1) 地域型住宅の特徴・具体像及び共通ルールについて、図表等を用いてわかりやすく説明してください。

注 2) 原則として、1枚に収めてください。